



ウラギクの池に飛来したキリアイ
2024/9/19

9月のおすすめ 秋のシギ・チドリ

9月は、北国で子育てを終えた鳥たちが南の越冬地へと渡ります。その途中で休憩のために様々なシギ・チドリ類がやってきます。昨年は9月中にセイタカシギ、ハジロコチドリ、コチドリ、メダイチドリ、エリマキシギ、キリアイ、ウズラシギ、ヒバリシギ、トウネン、ハマシギ、タシギ、ソリハシギ、イソシギ、クサシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、タカブシギ、アオアシシギが確認されました。

2025年7月に見られた鳥

アオアシシギ、アオサギ、アマサギ、アマツバメ、イソシギ、イソヒヨドリ、イワツバメ、ウミネコ、オオヨシキリ、**オオジシギ**、オオバン、オオヨシキリ、オカヨシガモ、カイツブリ、**カッコウ**、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、**キアシシギ**、キジ、キジバト、キンクロハジロ、**クサシギ**、**クロハラアジサシ**、ゴイサギ、コガモ、コサギ、コシアカツバメ、コチドリ、**コムクドリ**、スズガモ、スズメ、**セイタカシギ**、セグロセキレイ、セッカ、**ソリハシギ**、ダイサギ、**タカブシギ**、チュウサギ、**チュウシャクシギ**、**チュウヒ**、ツバメ、**トウネン**、(ドバト)、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボロガラス、**ハジロカイツブリ**、ハヤブサ、ヒバリ、ヒヨドリ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、マガモ×カルガモ、ミサゴ、ムクドリ、モズ

合計:59種類、交雑個体1種

※下線太字は注目の鳥、()は外来種または改良種。



←今季初認のオオジシギ
(2025/7/31 撮影)

今月のNEWS

261種類目はレンカク

2025/6/25に、レンカクの第1回夏羽1羽が現れました。当園初記録で、261種類目です。

つばさ池東端に浮遊する藻の上を歩いていました。



初記録のレンカク第1回夏羽 (2025/6/25)

カルガモの親子とマガモ×カルガモの親子

2025/6/4に、今年初めてカルガモの親子を確認しました。ヒナを12羽連れた2組でした(写真上)。

また、6/15以降確認されるようになった、ヒナを12羽連れた親鳥(写真下)は、マガモとカルガモの交雑個体で、そのつがい相手はマガモと思われます。



9月のイベント情報

水鳥公園のイベントの参加には入館料が必要です。表示があるものを除き、会場・集合場所は水鳥公園ネイチャーセンターです。

9月1日(月)～9月29日(月) 開館時間中いつでも コハクチョウ初飛来日クイズ2025

内 容：今年のコハクチョウの初飛来日を予想して投票してもらい、正解者にはもちろん記念缶バッジを贈呈します。さらに、正解者の中から抽選で3名様に、羊毛フェルトのコハクチョウもプレゼントします。

対 象：期間中のネイチャーセンター入館者

応募方法：入館時に配布する応募用紙に必要事項を記入して、館内の応募箱に入れます。応募はお一人につき1回とさせていただきます。



※とっとり県民カレッジ連携講座

9月13日(土)10:00～14:30

8/28(木) 受付開始

自然観察会「生物学会員と歩く生き物観察会 in 米子水鳥公園」

内 容：鳥取県生物学会の会員と一緒に園内保護区で生き物観察をします。午前中に生きもの探し、午後に見つけた生きものの種類調べと解説をします。生き物を持ち帰ることはできません。

対 象：小学生以上。小学生は保護者同伴。

定 員：学会員20名、一般20名・要予約・雨天中止

服 装：草むらの中を歩くので、長ズボンと長靴でご参加ください。

必ず帽子を着用。サンダルやクロックスは不可。

持ち物：お弁当、水筒、レジャーシート



※とっとり県民カレッジ連携講座

お申し込み・お問合せ先:米子水鳥公園ネイチャーセンター

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL:0859-24-6139 FAX:0859-24-6140

ホームページ <http://www.yonago-mizutori.com>

●開園時間：9:00～17:30(11月～3月の土・日・祝日は、7:00から開園)

●入館料：高校生以上70歳未満：310円(年間パスポート1,500円)
中学生以下および70歳以上：無料 ※お支払い方法は現金のみです

●休園日：毎週火曜日(祝日を除く)および祝日の翌日(土曜、日曜を除く)
12/29～12/31 ※9/23(火・祝)は開園し、9/24は休園します。

